

地域の振興

様々な活動を通じて組合員・地域の皆様とコミュニケーションを図り、「ぬくもりのある信頼づくり」を実現しています。

信用事業

地域密着の金融機関として、組合員、地域住民のニーズに応える事業展開を行います。地域シェアの拡大、事業量の伸長を図り、安定的な事業基盤を確立します。

- ① 個人貯金の確保
- ② 貸出金の伸長
- ③ 事業運営体制の強化



各支店で行われている年金相談会が好評です



年金友会の会員様を対象にグラウンドゴルフ大会やゲートボール大会を開催しています

共済事業

「ひと・いえ・くるま」の総合保障確立に向けた事業推進体制の再構築と、窓口体制の充実、強化を図ります。

- ① 事業推進体制の再構築
- ② 支店窓口の対応力強化
- ③ 人材育成への取り組み強化



お客様対応強化のため、支店窓口担当職員のロールプレイング大会を行っています



夏休み明けに小中学生を対象とした書道コンクールを実施しています。毎年1万点近い応募があります

経済(生活)事業

地域住民の皆様、に、日常の暮らしの中でより多くJAと関わっていただき、豊かな暮らしの実現に貢献します。

- ① 利用者に対するサービスの充実
- ② 事業体制の検討と職員教育
- ③ 女性部の部員増員による、魅力あふれる組織づくりと、暮らしに必要な生活資材の取り扱い拡大



レンタル振袖の展示会を開催したところ好評でした



女性部は共同購入商品の研修会を開いています



女性部と常勤役員らとの意見交換会を開いています



夏休みに「ちゃぐりんフェスタ」を開いています



女性部主催のグラウンドゴルフ大会を開催しています



自己改革の取り組み

平成13年4月にJA島原雲仙がスタートして、17年が経過しました。その間、私たちが最も大切にしてきたのは、組合員・地域の皆様との「ぬくもりのある信頼づくり」です。様々な活動を通して、皆様と接する機会を与えていただき、そこで得た生の声を次の事業へ活かす。活動の年輪を重ねながら、私たちは「日本一元気な産地」の実現をスローガンに産地振興に取り組んでまいります。



農業の振興

農業所得の増大と農業生産の拡大を図ります。また、多様な担い手育成と活力ある産地づくりを目指します。

営農支援体制の強化

- ① 農業所得 10% アップへ向けた取り組みと営農指導の充実強化。併せて、経済部と連携した生産コストの低減に向けた取り組み



営農指導員の研修会を定期的に行っています

- ② 労力支援システムの充実・強化



農機隊の活躍が農家の労力軽減に役立っています

- ③ 市場や消費者ニーズに合う生産体制を確立するため、部会組織の再編整備、強化
- ④ 安全・安心システムの充実
- ⑤ 記帳代行並びに経営支援体制の充実・強化



イチゴ農家に対して個別面談を行い、経営内容の確認と対策指導を行っています

J A 島原雲仙ブランドの確立

- ① 市場販売の改革と充実・強化



◀統一ロゴ「一億人のいぶくろ」は、農産物を輸送する大型トラックや段ボール、ポスターなど、様々な販売促進資材として活用しています。

- ② 多様な販売システムの構築と実践



ブロッコリーを氷詰めして出荷し他産地との差別化を図ります

- ③ 共販率向上対策
- ④ 集出荷施設の再編整備



総合集荷場が一元集荷、販売に力を発揮しています



島原と有明、同時に大根洗浄選別施設を竣工しました

担い手育成の強化

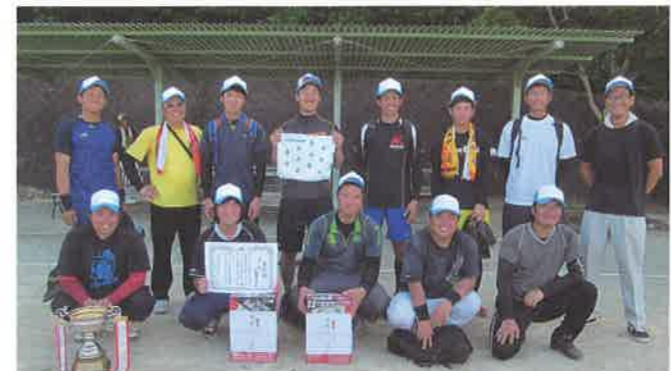
- ① 大規模経営体並びにJA未利用経営体対策の強化
- ② 高齢農業者・女性農業者対策の強化
- ③ 農業後継者育成・新規就農支援対策



婚活事業「おいしい恋」に取り組んでいます



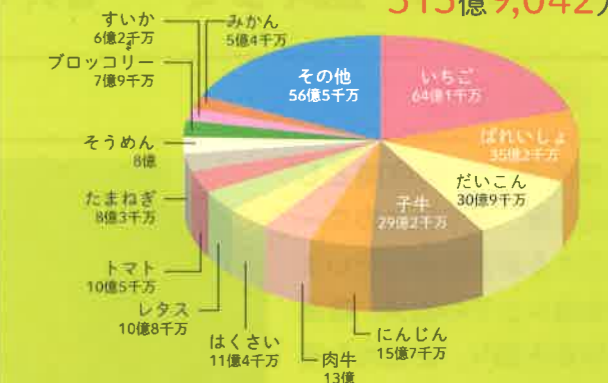
青年部と常勤役員らとの意見交換会を開いています



青年部ソフトボール大会を開催しています

平成 29 年度 農産物販売高

313億9,042万円



管内農作物マップ



組織・経営基盤の確立

経営管理

- ① 不採算部門の収支改善による事業利益確保に取り組みます。
- ② 不祥事が発生しないよう未然防止対策に取り組みます。
- ③ 広報誌をはじめ、日本農業新聞、地元ケーブルテレビとの協力体制を強化し、広報事業の充実を図ります。
- ④ 組合員様の世代交代による農地を含む資産の継承、管理を含めたサポート、支援を行います。

広報活動



◀ 組合員様向けに毎月1回約1万8千部を発行しています

▶ 地域コミュニティ誌として年に4回、約4万部を発行しています



ひまわりてれびと共同で「こぶれTV」を制作しています